

●医療費の助成

心身障害者医療費助成（障）

〈対 象〉医療保険に加入している次のいずれかの障害がある人

- ①身体障害者手帳 1～2 級（心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこうもしくは直腸、小腸またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害の人は 3 級まで）
- ②愛の手帳 1～2 度の人
- ③精神障害者保健福祉手帳 1 級の人

〈支給制限〉次のいずれかに該当するときは支給されません。

- ① 65 歳以上で新たに〈対象〉の要件を満たした人
- ②国民健康保険法の適用除外となっている生活保護世帯に属する人
- ③障害者本人の前年の所得（20 歳未満は、健康保険証の被保険者の所得）が限度額を超えている人
- ④乳幼児医療費助成制度（㊦）を受けている人（㊦の受給資格が消滅した場合、㊦を受給できる場合があります。㊦消滅の前月にお問い合わせください。）
- ⑤後期高齢者医療を受給し、住民税が課税の人

〈内 容〉健康保険証を使って病院、診療所、薬局などで診療、投薬などを受けたとき、保険の自己負担分の一部が助成されます。課税状況により自己負担がかわり、毎年更新されます。また、入院時の食事代や差額ベッド代等の健康保険適用外の費用は対象になりません。

東京都で指定されている医療機関では、健康保険証、心身障害者医療費助成受給者証を提示すると医療費が助成されます。コルセットなど保険で後払い（療養費払い）になるとき、または指定医療機関以外の医療機関や都外の医療機関で診療を受けた時は、いったん医療費を支払い、後で領収書等により、払い戻します。払い戻しは、障害福祉課へ申請してください。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

後期高齢者医療制度（障害認定）

〈対 象〉65 歳以上 75 歳未満の人で一定の障害の状態にある人で東京都後期高齢者医療広域連合の障害認定を受けた人

〈内 容〉障害認定を受けると保険診療は後期高齢者医療からの給付となり、医療機関に支払う自己負担は、1 割または 3 割となります。

※対象者、内容について詳細は、お問い合わせください。

◆問い合わせ先 保険年金課高齢者医療係 TEL 042-470-7846

産科医療補償制度

分娩に関連して発症した重度脳性まひのお子さまとご家族の経済的負担を速やかに補償するとともに、原因分析を行い、同じような事例の再発防止に資する情報を提供することなどにより、紛争の防止・早期解決および産科医療の質の向上を図ることを目的としています。

◆問い合わせ先 公益財団法人日本医療機能評価機構 産科医療補償制度運営部
産科医療補償制度専用コールセンター TEL 0120-330-637

育成医療(自立支援医療)

〈対 象〉18歳未満で以下の疾病治療のため、手術等を必要とし、確実な治療効果が期待される児童

①肢体不自由 ②視覚障害 ③聴覚・平衡機能障害 ④音声・言語、そしゃく機能障害 ⑤心臓機能障害 ⑥じん臓機能障害 ⑦小腸機能障害 ⑧肝臓機能障害 ⑨その他の先天性内臓障害 ⑩免疫機能障害

〈内 容〉指定育成医療機関において、将来生活していくために、必要な能力を身につけるための医療を給付します。医療保険の3割自己負担を原則1割自己負担とし、2割を給付します。ただし、世帯の所得に応じて、自己負担限度額が定められています。一定所得以上の方は、非該当になる場合があります。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

更生医療(自立支援医療)

〈対 象〉18歳以上の身体障害者手帳を持っている人で、東京都心身障害者福祉センターの判定により必要と認められた人。ただし、じん臓、小腸、肝臓、免疫の場合は指定医の要否意見書によります。

〈内 容〉指定更生医療機関において、障害の程度を軽減し、取り除くための医療を給付します。医療保険の3割自己負担を原則1割自己負担とし、2割を給付します。ただし、世帯の所得に応じて、自己負担限度額が定められています。一定所得以上の人は、非該当になる場合があります。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

精神通院医療(自立支援医療)

〈対 象〉精神疾患またはてんかんにより通院している人

〈内 容〉通院医療を受けている場合において、医療保険の3割自己負担を原則1割自己負担とし、2割を給付します。ただし、本人または世帯（申請者と同じ医療保険に加入して

いる人全員)の所得に応じて自己負担限度額が定められています。一定所得以上の人
は、非該当になる場合があります。

なお、1割自己負担について、非課税世帯の場合には、市の国民健康保険加入の人は、
東久留米市が助成し、社会保険または国民健康保険組合加入の人及び後期高齢者医療
制度被保険者の人は東京都が助成します。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

小児精神障害者入院医療費の助成

〈対 象〉小児精神病のため、精神科病床にて入院治療を必要とする18歳未満の人。継続治療
の場合には、満20歳の誕生月の末日まで延長可能。てんかんおよび精神遅滞のみの
人は対象になりません。

〈内 容〉入院医療費の自己負担分を全額助成します。(食事代や差額ベッド代等は対象になり
ません)

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

難病医療費助成

〈対 象〉国又は東京都が指定する特定疾患(13~17ページ参照)に罹患している人で、①
又は②のいずれかに該当する方

①その病状の程度が、厚生労働大臣が厚生科学審議会の意見を聴いて定める程度にあ
る方(重症度分類で該当する方)

②上記①に該当しないが、同一の月に受けた指定難病に係る医療費及び一部の介護サ
ービス費総額について、33,330円を超えた月数が、申請を行った日の属する月以
前の12か月以内にすでに3か月以上あった方

〈内 容〉指定された疾病を治療するために受ける診療、調剤、訪問看護等に係る医療保険を適
用した後の月額自己負担上限額を超えて支払った自己負担分を助成します。

※受給者証等を適用する前の自己負担割合が3割の方は、そのうちの1割についても
助成します。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

小児慢性特定疾病医療費の助成

〈対 象〉国が指定する以下の特定疾病に罹患している18歳未満の人

①悪性新生物(がん) ②慢性腎疾患 ③慢性呼吸器疾患 ④慢性心疾患

⑤内分泌疾患 ⑥膠原病 ⑦糖尿病 ⑧先天性代謝異常 ⑨血液疾患 ⑩免疫疾患

⑪神経・筋疾患 ⑫慢性消化器疾患 ⑬染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群

⑭皮膚疾患 ⑮骨系統疾患 ⑯脈管系疾患

〈内 容〉疾病の治療に係る保険診療で、各医療保険を適用し、総医療費に対し2割を自己負担した残額と月額自己負担上限額を超えて支払った分を助成します。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

B型・C型ウイルス肝炎治療医療費の助成

〈対 象〉B型・C型ウイルス肝炎のインターフェロン治療、C型ウイルス肝炎インターフェロンフリー治療、またはB型ウイルス肝炎核酸アナログ製剤治療が必要と診断された人

〈内 容〉治療にかかる入院、通院医療費の自己負担分の一部、または全部を助成します。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変の入院医療費の助成

〈対 象〉都内に住所があり、以下のすべての条件を満たす方

- ・B型・C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変と診断されていること
- ・世帯年収が概ね370万円未満
- ・申請月前11か月以内で高額療養費算定基準額を超えた月が2か月以上
- ・肝がん・重度肝硬変の治療の研究への協力に同意している

〈内 容〉B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がんの入院医療及び化学療法のための通院・重度肝硬変の入院医療にかかる保険診療の患者負担から、月額患者一部負担額を除いた金額を助成します。

◆問い合わせ先 障害福祉課 TEL 042-470-7747 FAX 042-475-8181

難病医療費助成・心身障害者福祉手当対象疾患

番号	疾病名	番号	疾病名
1	球脊髄性筋萎縮症	39	中毒性表皮壊死症
2	筋萎縮性側索硬化症	40	高安動脈炎
3	脊髄性筋萎縮症	41	巨細胞性動脈炎
4	原発性側索硬化症	42	結節性多発動脈炎
5	進行性核上性麻痺	43	顕微鏡的多発血管炎
6	パーキンソン病	44	多発血管炎性肉芽腫症
7	大脳皮質基底核変性症	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
8	ハンチントン病	46	悪性関節リウマチ
9	神経有棘赤血球症	47	バージャー病
10	シャルコー・マリー・トゥース病	48	原発性抗リン脂質抗体症候群
11	重症筋無力症	49	全身性エリテマトーデス
12	先天性筋無力症候群	50	皮膚筋炎／多発性筋炎
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	51	全身性強皮症
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	52	混合性結合組織病
15	封入体筋炎	53	シェーグレン症候群
16	クロウ・深瀬症候群	54	成人発症スチル病
17	多系統萎縮症	55	再発性多発軟骨炎
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	56	ベーチェット病
19	ライソゾーム病	57	特発性拡張型心筋症
20	副腎白質ジストロフィー	58	肥大型心筋症
21	ミトコンドリア病	59	拘束型心筋症
22	もやもや病	60	再生不良性貧血
23	プリオン病	61	自己免疫性溶血性貧血
24	亜急性硬化性全脳炎	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症
25	進行性多巣性白質脳症	63	特発性血小板減少性紫斑病
26	HTLV-1 関連脊髄症	64	血栓性血小板減少性紫斑病
27	特発性基底核石灰化症	65	原発性免疫不全症候群
28	全身性アミロイドーシス	66	IgA 腎症
29	ウルリッヒ病	67	多発性嚢胞腎
30	遠位型ミオパチー	68	黄色靱帯骨化症
31	ベスレムミオパチー	69	後縦靱帯骨化症
32	自己食食空胞性ミオパチー	70	広範脊柱管狭窄症
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症
34	神経線維腫症	72	下垂体性 ADH 分泌異常症
35	天疱瘡	73	下垂体性 TSH 分泌亢進症
36	表皮水疱症	74	下垂体性 PRL 分泌亢進症
37	膿疱性乾癬（汎発型）	75	クッシング病
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症

77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	117	脊髄空洞症
78	下垂体前葉機能低下症	118	脊髄髄膜瘤
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	119	アイザックス症候群
80	甲状腺ホルモン不応症	120	遺伝性ジストニア
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	121	脳内鉄沈着神経変性症
82	先天性副腎低形成症	122	脳表ヘモジデリン沈着症
83	アジソン病	123	H T R A 1 関連脳小血管病
84	サルコイドーシス	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
85	特発性間質性肺炎	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
86	肺動脈性肺高血圧症	126	ペリー病
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	127	前頭側頭葉変性症
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	128	ビッカースタッフ脳幹脳炎
89	リンパ脈管筋腫症	129	痙攣重積型（二相性）急性脳症
90	網膜色素変性症	130	先天性無痛無汗症
91	バッド・キアリ症候群	131	アレキサンダー病
92	特発性門脈圧亢進症	132	先天性核上性球麻痺
93	原発性胆汁性胆管炎	133	メビウス症候群
94	原発性硬化性胆管炎	134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
95	自己免疫性肝炎	135	アイカルディ症候群
96	クローン病	136	片側巨脳症
97	潰瘍性大腸炎	137	限局性皮質異形成
98	好酸球性消化管疾患	138	神経細胞移動異常症
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	139	先天性大脳白質形成不全症
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	140	ドラベ症候群
101	腸管神経節細胞僅少症	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	142	ミオクロニー欠神てんかん
103	CFC 症候群	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
104	コステロ症候群	144	レノックス・ガストー症候群
105	チャージ症候群	145	ウエスト症候群
106	クリオピリン関連周期熱症候群	146	大田原症候群
107	若年性特発性関節炎	147	早期ミオクロニー脳症
108	TNF 受容体関連周期性症候群	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
109	非典型溶血性尿毒症症候群	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
110	ブラウ症候群	150	環状 20 番染色体症候群
111	先天性ミオパチー	151	ラスムッセン脳炎
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	152	P C D H 19 関連症候群
113	筋ジストロフィー	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
115	遺伝性周期性四肢麻痺	155	ランドウ・クレフナー症候群
116	アトピー性脊髄炎	156	レット症候群

157	スタージ・ウェーバー症候群	199	5p 欠失症候群
158	結節性硬化症	200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群
159	色素性乾皮症	201	アンジェルマン症候群
160	先天性魚鱗癬	202	スミス・マギニス症候群
161	家族性良性慢性天疱瘡	203	22q11.2 欠失症候群
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	204	エマヌエル症候群
163	特発性後天性全身性無汗症	205	脆弱 X 症候群関連疾患
164	眼皮膚白皮症	206	脆弱 X 症候群
165	肥厚性皮膚骨膜炎	207	総動脈幹遺残症
166	弾性線維性仮性黄色腫	208	修正大血管転位症
167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	209	完全大血管転位症
168	エーラス・ダンロス症候群	210	単心室症
169	メンケス病	211	左心低形成症候群
170	オクシピタル・ホーン症候群	212	三尖弁閉鎖症
171	ウィルソン病	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
172	低ホスファターゼ症	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
173	VATER 症候群	215	ファロー四徴症
174	那須・ハコラ病	216	両大血管右室起始症
175	ウィーバー症候群	217	エプスタイン病
176	コフィン・ローリー症候群	218	アルポート症候群
177	ジュベール症候群関連疾患	219	ギャロウェイ・モワト症候群
178	モワット・ウィルソン症候群	220	急速進行性糸球体腎炎
179	ウィリアムズ症候群	221	抗糸球体基底膜腎炎
180	ATR-X 症候群	222	一次性ネフローゼ症候群
181	クルーゾン症候群	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
182	アペール症候群	224	紫斑病性腎炎
183	ファイファー症候群	225	先天性腎性尿崩症
184	アントレー・ビクスラー症候群	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）
185	コフィン・シリス症候群	227	オスラー病
186	ロスマンド・トムソン症候群	228	閉塞性細気管支炎
187	歌舞伎症候群	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
188	多脾症候群	230	肺胞低換気症候群
189	無脾症候群	231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症
190	鰓耳腎症候群	232	カーニー複合
191	ウェルナー症候群	233	ウォルフラム症候群
192	コケイン症候群	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)
193	プラダー・ウィリ症候群	235	副甲状腺機能低下症
194	ソトス症候群	236	偽性副甲状腺機能低下症
195	ヌーナン症候群	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
196	ヤング・シンプソン症候群	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
197	1p36 欠失症候群	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
198	4p 欠失症候群	240	フェニルケトン尿症

241	高チロシン血症 1 型	279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
242	高チロシン血症 2 型	280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
243	高チロシン血症 3 型	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
244	メープルシロップ尿症	282	先天性赤血球形成異常性貧血
245	プロピオン酸血症	283	後天性赤芽球癆
246	メチルマロン酸血症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
247	イソ吉草酸血症	285	ファンコニ貧血
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	286	遺伝性鉄芽球性貧血
249	グルタル酸血症 1 型	287	エプスタイン症候群
250	グルタル酸血症 2 型	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（※）
251	尿素サイクル異常症	289	クロンカイト・カナダ症候群
252	リジン尿性蛋白不耐症	290	非特異性多発性小腸潰瘍症
253	先天性葉酸吸収不全	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）
254	ポルフィリン症	292	総排泄腔外反症
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	293	総排泄腔遺残
256	筋型糖原病	294	先天性横隔膜ヘルニア
257	肝型糖原病	295	乳幼児肝巨大血管腫
258	ガラクトースー 1 – リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	296	胆道閉鎖症
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	297	アラジール症候群
260	シトステロール血症	298	遺伝性膵炎
261	タンジール病	299	嚢胞性線維症
262	原発性高カイロミクロン血症	300	I g G 4 関連疾患
263	脳腱黄色腫症	301	黄斑ジストロフィー
264	無 β リポタンパク血症	302	レーベル遺伝性視神経症
265	脂肪萎縮症	303	アッシャー症候群
266	家族性地中海熱	304	若年発症型両側性感音難聴
267	高 I g D 症候群	305	遅発性内リンパ水腫
268	中條・西村症候群	306	好酸球性副鼻腔炎
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	307	カナバン病
270	慢性再発性多発性骨髄炎	308	進行性白質脳症
271	強直性脊椎炎	309	進行性ミオクロヌスてんかん
272	進行性骨化性線維異形成症	310	先天異常症候群
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	311	先天性三尖弁狭窄症
274	骨形成不全症	312	先天性僧帽弁狭窄症
275	タナトフォリック骨異形成症	313	先天性肺静脈狭窄症
276	軟骨無形成症	314	左肺動脈右肺動脈起始症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX 1 B 関連腎症
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	316	カルニチン回路異常症

317	三頭酵素欠損症	331	特発性多中心性キャスルマン病
318	シトリン欠損症	332	膠様滴状角膜ジストロフィー
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	334	脳クレアチン欠乏症候群
321	非ケトーシス型高グリシン血症	335	ネフロン癆
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	336	家族性 β リポタンパク血症1（ホモ接合体）
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	337	ホモシスチン尿症
324	メチルグルタコン酸尿症	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
325	遺伝性自己炎症疾患	339	MECP2重複症候群
326	大理石骨病	340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）
327	特発性血栓症 （遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	341	TRPV4異常症
328	前眼部形成異常	※自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症は、指定難病288（自己免疫性後天性凝固因子欠乏症）に統合する。	
329	無虹彩症		
330	先天性気管狭窄症／ 先天性声門下狭窄症		

東京都単独の対象疾病一覧（心身障害者福祉手当対象外）

番号	疾病名	番号	疾病名
都 80	原発性骨髄線維症	都 88	古典的特発性好酸球増多症候群
都 77	悪性高血圧	都 91	びまん性汎細気管支炎
都 83	母斑症（指定難病の結節性硬化症、スタージ・ウェーバー症候群及びクリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群を除く。）	都 95	遺伝性QT延長症候群
都 866	肝内結石症	都 97	網膜脈絡膜萎縮症

計 8 疾病